

第3学年 社会科学習指導案

令和4年11月15日（火）第5校時

1 単元名 市場の働きと経済

2 本単元を構成するにあたって

(1) 教材観

①学習指導要領について

本単元は、中学校学習指導要領解説（平成29年告示）2 内容 B（1）に以下のように位置付けられているものである。

(1)市場の働きと経済

対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア)身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解すること。

(イ)市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解すること。

(ウ)現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解すること。

(エ)勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア)個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ)社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現すること。

経済産業省では、文部科学省の協力を得て「初等中等教育段階における起業家教育の普及に関する検討会」を開催し、平成27年に起業家教育の考え方や指導事例についてとりまとめた「指導事例集」を作成した。その中で、起業家教育は、課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の充実に寄与するものであると考えられ、地域社会との繋がりの強化や情報収集・分析力、判断力等の育成を目指すものであるとまとめられている。

②「久喜市ビジネスグランプリ」について

これを受け、経済活動の意義について本単元は、「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」の構想を通して、市場経済の仕組みや機能、個人や企業の役割と責任についての理解を深めること、企業が雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う責任を果たすことや環境への配慮、社会貢献に関する活動を行っていることなどについて多面的・多角的に考察し、表現できるようになることを、主なねらいとしている。ただし、経済活動や消費生活、市場経済の基本的な考え方や仕組みを理解するだけでなく、地方自治の単元で学習した地域の課題を解決しようとする取

組を基にした学習を行う。この学習を通して、少子高齢化、情報化、グローバル化など社会の変化に伴って、今後新たな発想や構想に基づいて財やサービスを創造することの必要性が一層生じることが予想されることや、社会に必要な様々な形態の起業を行うことの必要性に触れ、経済活動や起業などを支える金融などの働きが重要であることを意識できる単元構成を工夫する。

生徒の生活舞台として日々関わる現在の久喜市は、平成22年に久喜市、菖蒲町、栗橋町及び鷲宮町の合併により、約15万7千人（合併当時）の新「久喜市」となった経緯がある。合併当時の市長は『新「久喜市」誕生の軌跡』の中で「4地域（久喜市、菖蒲町、栗橋町及び鷲宮町）の特性を生かした一体的なまちづくりを進めるとともに『豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市』の実現に取り組む」と述べているように、1つの市としての一体感がありつつも、旧地域ごとに豊かな特色が見られる。

そこで、まず地方自治の学習では、市民の要望や市の課題を発見する学習を通して地域社会への関心を高めながら久喜市の理解を深める。その際に『久喜市総合振興計画（後期基本計画）』（平成30年）や『第2次久喜市総合振興計画市民意識調査報告書』（令和3年）にふれる。本資料において久喜市の目指す将来像が網羅的に示されており、さらに、その実現に向けた取組に対する市民意識を年代別・地区別に整理しているため、生徒にとって効率的に久喜市の実態把握を行うことができる。その上で、経済に関する仕組みや役割を理解する学習を通して、経済活動に関する諸課題や地域の経済的な諸課題を見出し、解決に向けて生徒同士が教え合い学び合う協働的な学習を組み入れた課題解決学習を企図して単元を構成した。その際に久喜市商工会をはじめとする外部の専門家からの指導や助言を受けながら、地域の経済活動や課題や解決策について多面的・多角的な視点から構想できるよう工夫した。そして「『久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン』ってどんなプランだろう。」という単元を貫く問いに対して、単元の終末で自分が構想したプランを提案する単元計画を構想した。

生徒が主体的に学習を深め、よりよい社会の構築に資する学習を展開していきたい。

③小・中・高の学習内容の系統性について

本単元は、小学校学習指導要領解説（社会編）における以下の内容と関連がある。
第3学年 内容

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(7) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

(イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

小学校における指導では、身近な地域で見られる生産の仕事の主な種類や分布を大まかに調べた上で、働く様子を見学・調査をする。販売の仕事については、地域の人々が利用している身近な商店などを見学・調査することが例として挙げられ、経済活動の内容を身近な生活の様子から学習している。これを受け、中学校学習指導要領解説では、「個人や企業の経済活動が様々な条件の中での選択を通して行われていること」、「所得、時間、土地、情報など限られた条件の下において、価格を考慮しつつ選択を行うという経済活動がなされる」ことや、「各企業は企業間で『分業』を行い、中間財を含めた財やサービスを『交換』することを通して人々が求める財やサービスを作り出すことによって、私たちの生活が成り立っていること」を理解できるようにすることが求められている。したがって小学校段階で身近な地域学習において具体的に学び取った知識を、中学校段階では現代社会の見方・考え方を働かせながら、永続的知識として概念化できるような単元計画になっている。

また、本単元は、高等学校学習指導要領解説（公民編）の「1 公共」における以下の内容と関連がある。

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ウ) 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。

高校では、経済的主体などとしてよりよい社会の形成に参画することに向けて、「幸福、正義、公正」という見方・考え方を働かせながら学習を行っていく。中学校では、「分業と交換」「希少性」等という見方・考え方を働かせながら学習を行い、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方を習得させていくことで、高校との接続がなされると考えられる。そこで単元構成の工夫として、本来中学校の学習段階では「考察し、表現できるようにする」となっているが、「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」を考える活動を通して、高校で求められる「構想」を生徒が意識できるようにした。

(2) 生徒観

①生徒のレディネスについて

本学級の生徒たちを、1年生からの持ち上がりで授業を担当している。これまでの授業では見方・考え方を働かせるような単元を貫く問いと評価規(基)準〔ルーブリック〕を提示することで、生徒が見通しをもって学習に取り組むことを意識し、主体的に学習に取り組む態度を一貫して涵養してきた。さらに、単元の終末ではパフォーマンス課題に取り組むことで、単元を通して見方・考え方を働かせながら学習したこと(知識・技能)を総合し、思考・判断・表現する資質・能力を高めてきた。これまで取り組んできた課題は、例えば、地理的分野では「豊予海峡ルートは中国・四国地方をよりよい地域にするか。」や、歴史的分野では「明治は「明るく治める世」になったのか。」である。

本単元に至るまでの学習過程では、例えば地理的分野「地域の在り方」の学習においては、地域の課題を見だし考察するなどの社会参画の視点を取り入れた探究的な学習を行った。続いて歴史的分野「身近な地域の歴史」の学習においては、久喜市に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域である久喜市の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、年表や地図にまとめる活動を行った。

公民的分野「A 私たちと現代社会」では、日本や世界の現在の状況や方向性についてSDGsと関連付けて確認したり、あるマンションにおけるエレベーターの設置費用をめぐる住民の話し合いをテーマに「対立と合意」「効率と公正」についての見方を習得したりした。さらに「C 私たちと政治」では、「地方自治」の学習を通して「地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであること」を理解し、主権者として、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を育成することができた。

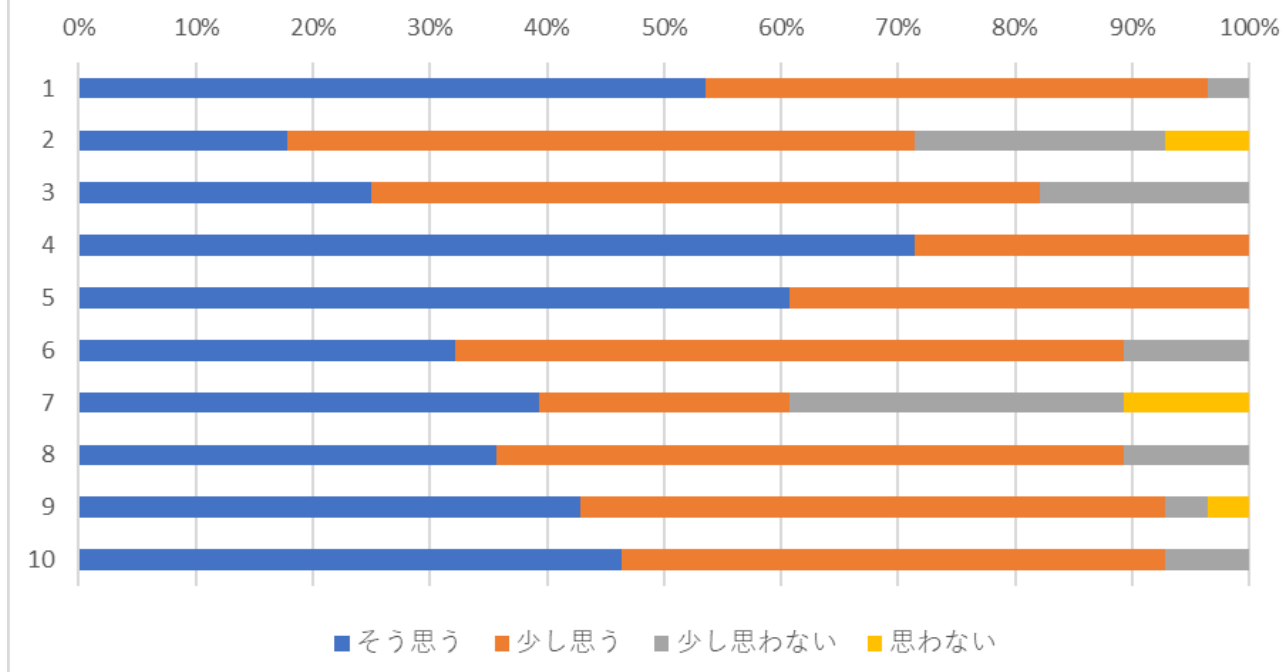
②アンケートによる調査から

本学級の生徒は、入学当初から少人数グループでの活動を新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら適宜取り入れるようにし、他の生徒との交流を通して思考を深め合う場面を多く設定してきた。また、単元を貫く問いやパフォーマンス課題を生徒が主体的・対話的に追究する場面を多く設定してきた。

10月17日に生徒向けのアンケートを実施した。その結果、質問1、3、4、5、8、9、10に対しては約8～9割が肯定的に回答しており、既習知識と旺盛な好奇心を背景に、授業での学びと現代社会とのつながりを見い出しながら公民的分野の学習を深めていることが分かる。その一方で、質問7に対する否定的な回答が比較的多く、行動の変容には至っていない可能性がある。

そこで本実践では、学習内容が実社会や自身の身近な生活と密接に関連していると感じさせることができるように、パフォーマンス課題で久喜市に関連した課題を提示したり、地元企業のインタビュー動画を流したりして身近な地域を題材とした実践を進める。そのことにより社会参画への意識を高め、行動の変容に結び付けたい。

生徒向けアンケート（令和4年10月17日実施）



生徒向けアンケート（令和4年10月17日実施）

- 1 公民的分野の授業での問いを受けて、「なぜだろう?」とか「もっと知りたい!」となっていますか。
- 2 小学校で学習した知識と関連付けながら公民的分野の学習に取り組んでいますか。
- 3 地理的分野で学習した知識を関連付けながら公民的分野の学習に取り組んでいますか。
- 4 歴史的分野で学習した知識を関連付けながら公民的分野の学習に取り組んでいますか。
- 5 公民的分野の学習内容を実際の社会や身近な生活の中での出来事と関連付けていますか。
- 6 「対立と合意」「効率と公正」といった考え方を働かせながら、憲法（人権）や政治、経済の単元の学習に取り組んでいますか。
- 7 公民的分野の学習を受けて、日々の生活における行動や態度に具体的な変化はありましたか。（例）新聞を読むようになったなど。
- 8 現代の社会問題について、様々な側面や立場に立って考えることがありますか。
- 9 あなたは、生涯にわたってよりよい社会づくりに貢献していきたいと思いませんか。
- 10 公民的分野の学習は自分の将来設計を行う上での参考になっていますか。

(3) 指導観

中央教育審議会答申や学習指導要領で謳われている「よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにする」ことや、「令和4年度 指導の重点」(①ICTを効果的に活用した授業実践／②地域や学校、生徒の実態を生かした学習を展開するための指導・評価計画の作成・活用と改善・充実／③人間尊重の精神と国際社会に生きる日本人としての自覚をもつ生徒の育成)に迫るため、本単元の単元を貫く問い(「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」ってどんなプランだろう。)の追究を通して、以下の工夫をした。

①主体的に課題を追究するための単元計画の工夫

学習内容について教科書の順番を適宜入れ替えることで生徒が主体的に課題を追究し、深い学びにつながるようにした。第一次では、市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方、生産や流通、金融などの仕組みや働きについて触れ、利潤の追求が基本にあることを理解する。その上で第二次では、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質、消費者の権利などについて理解し、利潤の追求だけではない企業の社会的責任とは何かについて多面的・多角的に考察し、ゆさぶりをかける。

②主体的に課題を追究するためのパフォーマンス課題の設定

本単元中のパフォーマンス課題は、久喜市が実際に行っている取組(久喜市ビジネスグランプリ)をもとに構想し、市長に映像を通して生徒に直接語りかけてもらうことで、生徒の学習意欲を喚起することを企図した。さらに、単元の導入においてパフォーマンス課題を提示し、振り返りカード(いわゆる学びの地図)を用いることで、常に学びを調整しながら課題を追究する。

③個別最適な学びと協働的な学びを充実するためのICTの効果的な活用

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するようICTを効果的に活用していく。

個別最適な学びを充実するために、AIが生徒一人一人の習熟度に合わせた最適な問題を出題する、AIドリル型教材「Qubena」を活用する。毎時間の冒頭に、前時の理解度を測るために使用することにより、個別最適な学びの充実に資することができる。協働的な学びを充実するために、「Googleフォーム」や「ミライシード」を活用する。これらのアプリは、授業者からのアンケートや生徒同士のアンケート、ビジネスプランの発表時に行われる生徒による相互評価の結果を自動的にグラフ化して提示したり、出力された結果をテキスト分析したりすることで、課題を素早く適切に掴むことができる。この他にも、「Googleミート」を活用してゲストティーチャーに話を伺ったり、「RESAS」を活用して地域の実態把握を行ったりすることにより、学習活動の充実に努める。

④主体的・対話的で深い学びを実現するための外部人材の活用

本単元を構想するにあたり、外部人材を積極的に活用する。地域学校協働活動推進員を窓口、久喜市長や久喜市役所・久喜ブランド推進課といった行政、さらに久喜市商工会には、パフォーマンス課題が、実際に行われている「久喜市ビジネスグランプリ」を模したものであるため、課題の提示とビジネスプランの評価について協力していただく。そして、CSRの学習では、久喜市内の商業施設に「久喜市へのCSR活動」について直接インタビューをさせていただく。これらにより、社会参画の視点を取り入れることができ、主体的・対話的で深い学びの実現に資すると考える。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

- 経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決め方、生産や流通、金融などの仕組みや働きについて理解する。【知識及び技能】
- 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質、消費者の権利、企業の社会的責任について理解する。【知識及び技能】
- 「単元を貫く問い」を、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。【思考力、判断力、表現力等】
- 市場の働きと経済について、身近な地域である久喜市における諸課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決め方、生産や流通、金融などの仕組みや働きについて理解している。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質、消費者の権利、企業の社会的責任について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「単元を貫く問い」を、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場の働きと経済について、身近な地域である久喜市における諸課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

4 単元の指導計画・評価計画（16時間）

（●「学習改善につながる評価」、○「評定に用いる評価」）

次	学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
単元の導入 （1時間）	<p>【ねらい】市場の働きと経済に関する単元を貫く問いを設定し、予想を出し合い、学習計画を立て、課題解決への見通しをもつ。</p>				
	<p>第1時の問い 「そもそも経済って何だろう。」 ・企業による地域振興を例にしながら、広く経済分野の導入的学習を行う。</p>				
	<p style="text-align: center;">パフォーマンス課題</p> <p>あなたは、久喜市立久喜中学校で一生懸命勉強を頑張っている3年生です。そんなあなたに久喜市長から、以下のようなメッセージが届きました。</p> <p>久喜中学校のみなさん、こんにちは。久喜市では、「豊かな地域資源を活かし、産業の中心となるまち」をつくる、という政策を掲げています。具体的には、久喜市商工会と協力をしながら、市内を拠点として創業する方を支援するとともに、新たなビジネスプランをもつ事業者を発掘するため、独創的で優秀なプランを表彰するビジネスグランプリを実施しています。</p> <p>ぜひこれからの久喜市を担う久喜中学校のみなさんにも、久喜市をもっともっとよくするようなビジネスプランを考えてもらいたいと思います。ぜひ力を貸してください！</p> <p>このメッセージを受け取ったあなたは、早速仲間とともにビジネスプランを企画することにしました。久喜市長が驚くようなプランを、力を合わせて考えましょう！</p> <p>・久喜市長にビデオメッセージという形で直接生徒に語りかけていただく。 ・【ビジネスプラン①】を1人1枚ずつ記入する。</p>				
	<p style="text-align: center;">単元を貫く問い</p> <p>「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」ってどんなプランだろう。</p> <p>・身近な地域である久喜市をよりよくするビジネスプランを立てる想定で「単元を貫く問い」を設定する。 ・ビジネスプランの評価項目を示し、「価格をどのように設定したらいいのか」「原材料をどのように調達したらいいか」など、課題解決への見通しを立てる。</p>			●	●単元を貫く問いを自分ごととして予想を出し合い、学習計画を立てるなど、課題解決への見通しを立てている。 (ビジネスプラン①・振り返り用紙)
第一次 （6時間）	<p>【ねらい】市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決めり方、生産や流通、金融などの仕組みや働きについて触れ、利潤の追求が基本にあることについて理解する。</p>				
	<p>第1時の問い 「そもそも企業って何だろう。」 ・某ハンバーガーショップの価格構成を例に、資本主義経済において企業は利潤を目的に生産活動を行うことを理解する。</p>	●		●	●習得すべき内容を理解している。(Q u b e n a) ●粘り強く学習に取り組んでいる。課題の解決を視野に学習に取り組んでいる。 (振り返り用紙)
	<p>第2時の問い 「原材料をどのように調達したらいいだろう。」 ・市場の仕組みなどに関する図などを読み取り、流通の仕組みや働きを理解する。</p>	●		●	
<p>第3時の問い 「海外の原材料を輸入する際はどんなことを意識する必要があるだろう。」 ・新聞記事などを読み取り、為替（円高・円安）や関税の仕組みについて理解する。</p>	●				
	<p>第4時の問い 「価格をどのように設定したらいいだろう。」 ・需要と供給に関係する図を読み取り、市場経済の働きについて理解する。</p>	●			

<p>第一次 (6時間)</p>	<p>第5時の問い 「販売のための資金をどのように調達したらいいだろう。」 ・金融の働きに関する図を読み取り、主に銀行の仕組みや働きについて理解する。</p> <p>第6時の問い 「経営拡大のために資金をどのように集めたらいいだろう。」 ・企業の種類や形態などについて触れ、株式会社の仕組みについて理解する。</p>	<p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p>	
<p>第二次 (4時間)</p>	<p>【ねらい】 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神、消費者の権利などについて理解し、利潤の追求だけではない企業の社会的責任とは何かについて多面的に考察する。</p> <p>第1時の問い 「人手不足にどのように対応したらよいだろう。」 ・実際に起きた労使問題を例に、労働者の権利や労働組合の意味、現在の労働をめぐる諸問題について考察する。 ・久喜市内の企業の求人募集を調べ、参考にしながら求人広告を作成する。【求人広告】</p> <p>第2時の問い 「もっと売上を伸ばしたい場合、どんなことができるだろう。」 ・コマースやクーポンなどの意味について触れるとともに、独占禁止法の意義について理解する。</p> <p>第3時の問い 「お客様とトラブルになったらどうしよう。」 ・実際に起きた裁判を例に、契約や消費者の権利について触れ、経営上遵守すべき法令について理解する。</p> <p>第4時の問い 「企業が果たすべき責任とは何だろう。」 ・さまざまな企業の社会的責任（CSR）の事例について触れ、企業が社会の中でどのような役割を果たしているのか考察する。 ・久喜市内の商業施設の方をゲストティーチャーとして招聘し、「CSR」についてお話をいただく。（録画インタビュー映像） ・他の市内企業・事業所のCSRを調べる。</p>	<p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p> <p>●</p>	<p>● 習得すべき内容を理解している。（Qubena）</p> <p>● 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）</p> <p>● 粘り強く学習に取り組んでいる。課題の解決を視野に学習に取り組んでいる。（振り返り用紙）</p> <p>● 消費者の権利や企業が遵守すべき法令について多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）</p> <p>● 企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。（ワークシート）</p>
<p>単元のまとめ (5時間)</p>	<p>【ねらい】 パフォーマンス課題の追究を通して「単元を貫く問い」を考察し、地域の在り方を踏まえた個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察する。また、単元の学習を振り返る。</p> <p>第1・2時の問い 「『久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン』を考えよう。」 【ビジネスプラン②】 ・ここまでの学習成果を基に、【ビジネスプラン】を構想する活動を通して、地域の在り方を踏まえた個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察する。 ・久喜市商工会や久喜市役所・ブランド推進課の方から、事業を計画する際のポイントや注意点、評価の観点についてお話をいただく。（録画インタビュー映像） ・作業は少人数グループで進める。 ・ルーブリック①の提示</p>	<p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p>	<p>●</p> <p>●</p>	<p>● 既習内容を適切に整理し、現代社会の見方・考え方を働かせながら、「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」を多面的・多角的に考察し、構想している。（ビジネスプラン）</p> <p>● 市場の働きと経済について、現代社会、特に身近な地域である久喜市において見られる諸課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。（ビジネスプラン・振り返り用紙）</p>

単元のまとめ（5時間）	第3時の問い 『久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン』を発表しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・構想したビジネスプランを班ごとに発表する。 ・6/8 班の発表を行う。 ・ビジネスプランに対して、商工会と同様の観点（①独自性②成長性③実現可能性④地域性）をもとに、生徒によるABC3段階の相互評価を行う。 	●	●	
	第4時の問い（本時） 『久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン』をもっともっとよくしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・2/8 班の発表を行う。 ・商工会の経営指導員のフィードバックをもとに、ビジネスプランを改善する。 ・ルーブリック（②）の提示。 	●	○	●第三者からの評価をもとに、「久喜市をもっともっとよくする」ことについて検討を重ね、諸資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。（ビジネスプラン）
	第5時の問い 『久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン』って結局どんなプランだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーからの指導と気づきをもとに企画書を修正し、自分なりの企画書を仕上げる。 ・ルーブリック（③）の提示。 ・振り返り用紙の記入。 	○	○	○第三者からの評価をもとに、検討を重ね、より多くの資料にあたりながら、よりよい久喜市の実現を目指して粘り強くビジネスプランを構想している。（ワークシート） ○現代社会の見方・考え方を働かせながら、「久喜市をもっともっとよくする」ビジネスプランを多面的・多角的に考察し、構想している。（ビジネスプラン） ○単元の導入に立てた見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見出している。（振り返り用紙） ※知識・技能の「評定に用いる評価」は別途、定期テスト等により見とる。
	【単元を貫く問い】に対する結論 「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」を考えるにあたって、関係する法律をしっかりと守ったり、安全な商品を作ったり、地元の原材料を使ったり、地域の人が働きやすい職場にしたりするなど、様々な形で地域に貢献できるような工夫が必要である。さらにその上で利潤も追求するバランスも大切である。			

■ルーブリック①（パフォーマンス課題用／「思考・判断・表現」の観点から見とるため）

評価項目 規準	A	B	C
「久喜市をもっともっとよくすること」についてどう捉えたか、現代社会の見方・考え方（身に付けた概念）を働かせたり、習得した知識を活用したりして、多面的・多角的に考察し、表現しているか。	「B」に加えて、「福祉の向上」については、さらに複数の視点に触れている。	「資本主義経済（市場経済）」・「福祉の向上」といった2点の見方・考え方を働かせて、具体的に市にとってプラスになることがどんなことか触れている。	未記入 または 問いに正対できていない。
	*「資本主義経済」については、「利潤」「好景気」などがキーワード *「福祉の向上」については、「消費者」「労働者（雇用）」「行政（財政）」「地域住民」「諸産業の経営者（産業振興）」などがキーワード。本指導案における「福祉」は全て同様の趣旨（単に利潤を追求するだけではないビジネスの在り方）で使用されている。		
↑を踏まえて、具体的なビジネスプランが提案できているか。	「誰にとって、どんな効果があるのか」目的や目標が明確で、妥当な提案になっている。	市をもっともっとよくするために必要だと思われる、久喜市ならではのプランを提案できている。	未記入 または 習得した知識を生かしていない提案。
	*商工会が示した「実現可能性」「成長性」（総務省が示す「有効性」「必要性」「効率性」）があるかどうか。 *商工会が示した項目のうちの「独自性」「地域性」があるかどうか。		
根拠となる資料が添付され、有効活用できているか。	複数の資料を提示し、それらに関連付けて、ビジネスプランに説得力をもたせている。	根拠となる資料が提示され、その資料の意味とビジネスプランとの関連性について触れている。	添付なし または 添付されているだけ。

* 網掛けの部分は生徒には提示しない。事前に提示すると、見方・考え方を働かせたり、習得した知識を活用したりしているかどうかが見とれなくなるため。

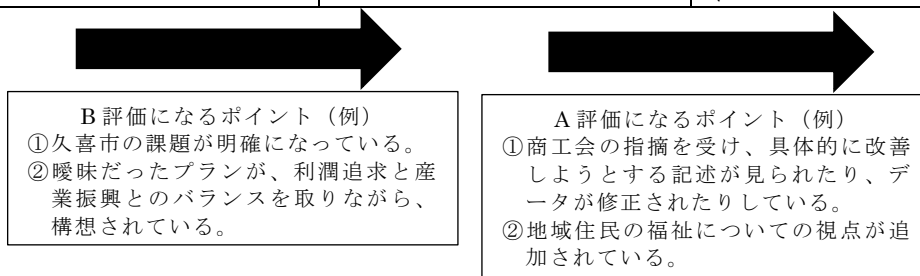
■ルーブリック②（振り返り用紙／「主体的に学習に取り組む態度」のうち、「自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組んでいる様子」を見とるため）

評価項目／規準	A	B	C
第一次、第二次の学習、商工会の方のアドバイスやコメント、発表時の相互評価、その後の班活動を踏まえて、よりよいビジネスプランになるよう進んで練り直しを行っているか。	グループで発表したビジネスプランと比較して、新たな視点が追加されたり、視点が深まったりしているような具体的な記述がみられる。	導入時に記入したビジネスプランと比較して、視点が深まるような変化がみられる。	未記入。

※ルーブリック②における「視点の“深まり”や“追加”」について

例えば、以下のような変容を想定して評価基準を設定した。

	段階1（導入）	段階2（展開）	段階3（総括）
	導入時に作成したプラン概要【ビジネスプラン①】	グループで作成したプラン概要【ビジネスプラン②】	個人で完成させたプラン概要【My ビジネスプラン】
久喜市の課題	少子高齢化	栗橋地区における「買い物不便」を解消する	（同）
ターゲット	久喜市の人々	主に栗橋地区の人々	（同）
何を	未記載	久喜市の特産品	（同）
どのように	久喜市のどこかに高齢者の方に積極的に働いてもらう店をつくる。	J A の販売所のようなものを栗橋地区に設ける。	（同） ただし、幸手の販売所の品揃えを調査し、すみわけを行う。
資源活用と課題解決の視点	働く若い人たちが減り、高齢者が増えていると聞いたが、高齢者の方々にたくさん働いてもらえばいい。	久喜市の特産品を栗橋地区で販売することで、買い物不便解消への一助となるとともに、立地上、幸手市、加須市はもちろん古河市や五霞町など広域からの来客を見込め、広報的な役割も期待できる。	（同） ただし、単なる買い物不便の解決にとどまらず、高齢者の活用、地域の農家の持続可能な経営、地域コミュニティの場としての販売所づくりなどの目的をアピールし、多くのボランティアや企業に協力を要請する。商品価格はできるだけ抑える一方、販売協力農家のマージンが多くなるような経営努力をする。
従業員の人数と賃金額	100人 時給 10,000円 できるだけ多く・高く！	平均的数字	従業員数名とボランティア 賃金は平均的数字
価格	とても安く売る！	平均的価格	農家さんが不利にならない最低ラインを守りつつ、できるだけ安く



■ルーブリック③（振り返り用紙／「主体的に学習に取り組む態度」のうち、「主体的に社会に関わりようとする態度」を見とるため）

評価項目／規準	A	B	C
単元の学習を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしていることを見いだすとともに、これからも問い続けていきたいことを述べているか。	「B」に加え、地域との関わり方について、自分が行っていくことをより具体的に触れている。	単元の学習を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしていることを見いだすとともに、これからも問い続けていきたいこと（追究していきたいこと）を述べている。	未記入。

5 本時の学習指導（本時15／16）

（1）目標

- 第三者からの評価をもとに、「久喜市をもっともっとよくする」ことについて検討を重ね、諸資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】
- 第三者からの評価をもとに、検討を重ね、より多くの資料にあたりながら、粘り強くビジネスプランを構想することを通して、よりよい久喜市を実現しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

（2）展開

学習活動等	・指導上の留意点 評価 〈方法〉	資料等	時間
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時の学習活動】</p> <p>①前時に続き残り2つの班の発表</p> <p>②商工会の経営指導員と、生徒相互による評価のフィードバック</p> <p>③ビジネスプランの改善（班→個人）</p> <p>④振り返りカードの記入</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームにアップされている各班のビジネスプランならびに相互評価用フォームを確認する。 ・前時に発表が終了しているプランに対する商工会の経営指導員のコメントと評価を班の名前を伏せた上で、1つ紹介することで、社会参画意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプラン（ドキュメント・印刷物） ・相互評価用フォーム 	2
<p>2 2つの班が発表し、相互評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの班の生徒は、1班ごとに全体に向けて発表をする。1班の発表時間は4分間とする。 ・発表後、Googleフォームにて、相互評価を2分間で記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会の経営指導員及び生徒の相互評価による評価規準は、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ①独自性（オリジナリティのあるプランか） ②成長性（持続可能で収益が見込めるプランか） ③実現可能性（実現に向けて障害になりそうなことへの対応は考えているか） ④地域性（地域資源の活用や地域課題の解決に資するプランか） ・商工会の経営指導員は、A・B・Cの3段階を基準として評価し、コメントをつけてもらえるよう事前に依頼しておく。 ・生徒の相互評価は、A・B・Cの3段階で評価する。その際に、参考としたい点などを記録する。 		12
<p>3 本時の課題をつかむ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>本時の問い</p> <p>「久喜市をもっともっとよくするビジネスプラン」をもっともっとよくしよう。</p> </div>		1

<p>4 評価のフィードバックを受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の経営指導員と、生徒の相互による評価のフィードバックを受ける。 <p>5 班のビジネスプランについて改善案を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班になり、経営会議という設定でビジネスプランの改善案を検討する。 ・改善を検討する点とその改善案をふせんに記入し、班で出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会の経営指導員の評価について、全班に共通する内容は、事前に録画した映像を通して伝える。班ごとの内容は、評価票に記入してもらったものを各班に配布し、伝える。 ・フィッシュボーン（思考ツール）を用いて改善案を整理する。大骨に商工会の経営指導員や相互評価で明らかとなった課題点を書き、小骨に改善案を書いた付箋を貼り付ける。 ・出し合った改善案について、「久喜市をもっともっとよくする」という視点から自分なりに考え、諸資料に基づいて選択・判断し、具体的に構想することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評第三者からの評価をもとに、「久喜市をもっともっとよくする」ことについて検討を重ね、諸資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。【思考・判断・表現】〈G o o g l eドキュメント〉 ⇒改善策を考えることが難しい生徒には、評価のフィードバックの中から生かせそうな視点を選ぶよう促す。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合ったことを生かし、次時には一人一人が「My ビジネスプラン」を完成させることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会の経営指導員のビデオメッセージ・コメントと評価 ・相互評価用 F o r m s 	30
<p>6 改善案を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で出し合った改善案の中から、自分が特に取り組みたいものを選択する。 ・「My ビジネスプラン」を完成させる見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「久喜市をもっともっとよくする」ために、久喜市のどんな課題を、どのように捉え、改善案をどのように具体的に選択・構想したのか、という観点で振り返りカードを記 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード 	5

<p>・数名の生徒による発表を行う。</p>	<p>入する。新たな視点が追加されたり、視点が深まったりしている生徒数名を指名し、発表を行うことで、価値づけを行う。</p> <p>評第三者からの評価をもとに、検討を重ね、より多くの資料にあたりながら、粘り強くビジネスプランを構想することを通して、よりよい久喜市を実現しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】〈振り返りカード〉</p> <p>⇒振り返ることが難しい生徒には、友達の発表を聞いて、「My ビジネスプラン」に生かしたいと考えた点を記入するよう促す。</p>		
------------------------	---	--	--